

## 題材の目標

- (1) 被写体の印象や瞬間の美しさなどから主題を生み出す。
- (2) 主題を基にカメラの特性や効果を生かして創造的な表現の構想を練り、写真で表す。
- (3) 互いの作品を鑑賞し合い、表現の意図や工夫などについて話し合う。

## 標準的な展開例

【準備等】タブレット端末、サムネイルシート、プリンターなど

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 参考作品を鑑賞し、制作の見通しを立てる。</p> <p>★作者はどこにこだわって写真を撮ったのだろう。</p> <p>○教科書の写真作品を鑑賞し、感じたことを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「未来ちゃん」川島小島</li> </ul> <p>○日常をテーマにし、写真作品によって伝わるイメージやメッセージについて考える。</p> <p>○カメラ機能の基本操作について体験を通して身に付ける。</p> <p>2 テーマを決定し、構想を練る。</p> <p>★これまでの経験や気持ちから、イメージを深めよう。</p> <p>○学校生活や身の回りのことから感じ取ったことや考えたことを基に作品の主題を生み出す。</p> <p>○グループで場の設定や撮影の協力をし合いながら構想を練る。</p> <p>3 撮影した画像を使って編集する。</p> <p>★造形的な視点から効果を考えよう。</p> <p>○撮影した画像を確認し、テーマに迫るよりよい作品を目指し、表現の追求をする。</p> <p>○グループで場の設定や撮影の協力をし合いながら編集する。</p> <p>○編集した作品を鑑賞する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・2次元コードを読み取り、写真に切り取られた一瞬の場面について、背後にあるストーリーを具体的に想像させながらイメージを広げさせる。</li> <li>・カメラによる作品の特徴や効果を水彩画などの他の表現方法と比較して考えさせる。</li> </ul> <p>【評】作品のよさや美しさを感じ取り、作者の心情や表現の意図と創造的な工夫などについて考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラを使った表現のよさや特徴に気付かせる。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>・カメラの特徴や構図の工夫を確認し、効果的な表現ができるように使い方の練習をさせる。</li> <li>・イメージをもって制作させるとともに、制作しながら構想が練られていくことも大切であるとする。</li> <li>・光の効果を理解できていない生徒には、カメラと光源の位置関係や表現効果の違いを具体的に示す。</li> </ul> <p>【評】美術の創造活動の喜びを味わい主体的テーマを追求する表現の学習活動を通して「主体的に学習に取り組む態度」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・撮影の前に、前回の画像をグループで確認させ、本時の撮影ポイントを押さえる。</li> <li>・グループ内で撮影と協力の役割をバランスよく行えるようにアドバイスする。</li> </ul> <p>【評】カメラの特性を生かし、意図に応じて自分の表現方法を追求して創造的に表現する活動を通して「知識・技能」を評価する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・プリントアウトしたり電子黒板に写したりして発表させる。</li> </ul>

## 【 備 考 】

写真表現の特性を生かして表すことに関心をもち、被写体の印象や瞬間の美しさなどから主題を生み出し、構図の効果を考えて構想を練ったりカメラの特性を生かしたりして創造的に表す。